



エクスプレスラベル チュートリアル

# 目次

画面説明.....	1
<b>ラベルデザイントップ画面</b> .....	1
<b>オブジェクト選択時の画面</b> .....	2
<b>オブジェクトのプロパティ画面</b> .....	3
固定オブジェクトのラベルを作成します。.....	5
挿入した QR コードをシーケンス(連番)設定します。.....	12
自動生成されたラベルに固定テキストをコピーします。.....	14
オブジェクトを削除します。.....	15
新規ラベルを追加します。.....	16
ラベルを削除します。.....	16
スプレッドシートからデータをインポートします。.....	17

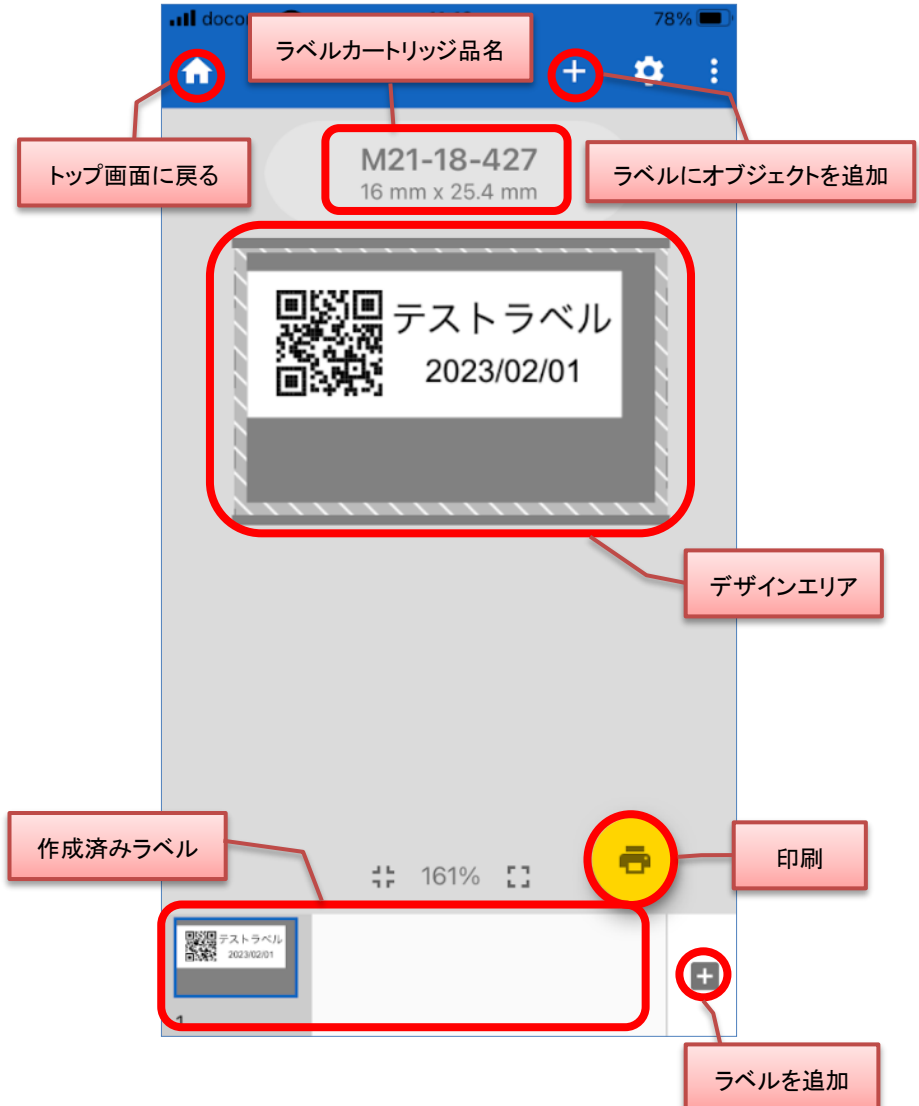
## **ご注意**

本書内では iOS デバイスの画面を使用していますが、Android デバイスでも同等の画面が表示されます。Android デバイスをお使いの場合は Android デバイス用に読み替えてください。

## 画面説明

### ラベルデザイントップ画面

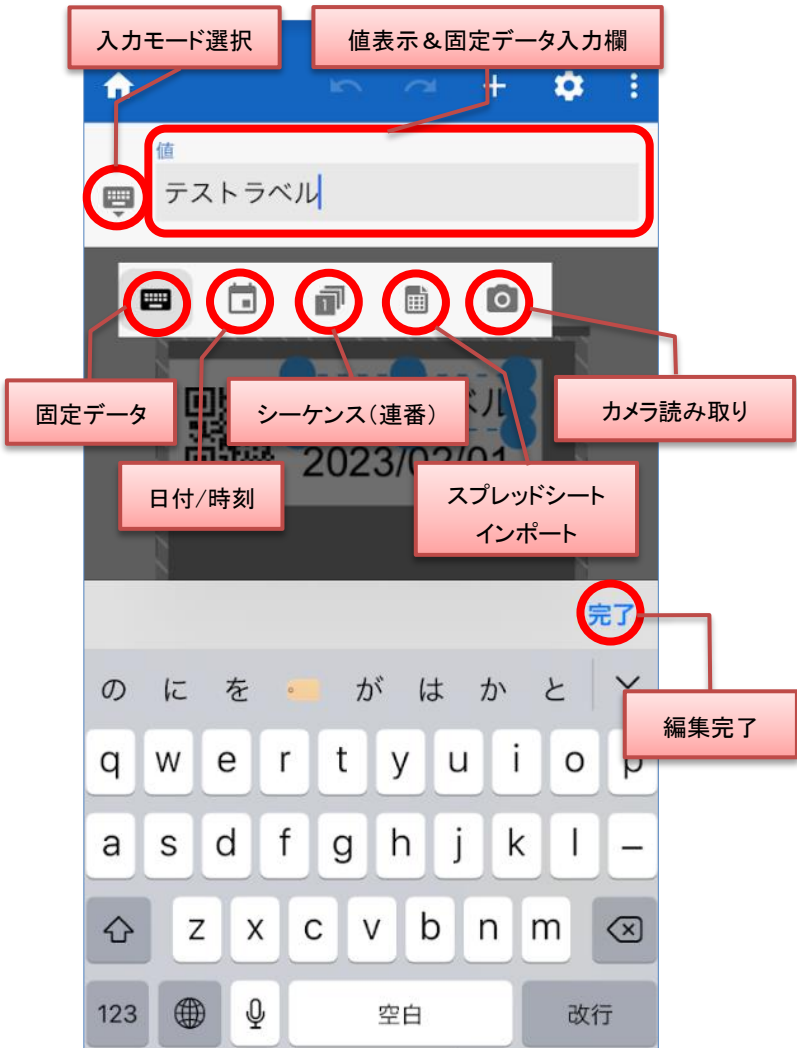
※デザインの空白部分をタップすればいつでもトップ画面に戻れます。

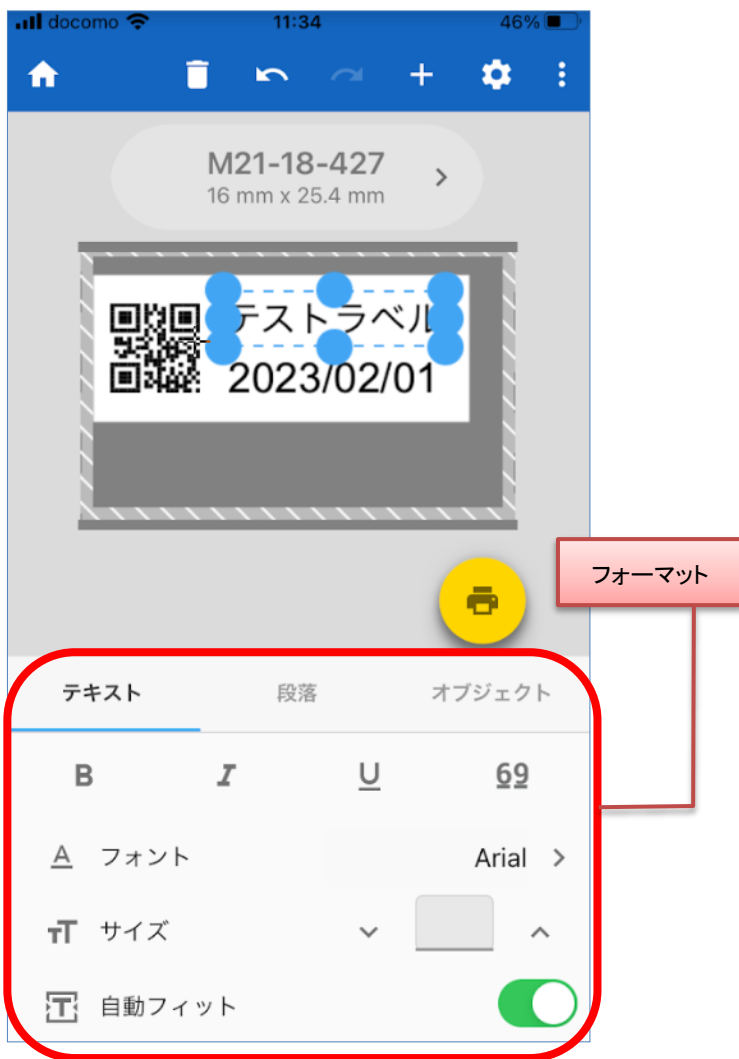


### オブジェクト選択時の画面

下の図では「テストラベル」というテキストを選択している状態です。



**オブジェクトのプロパティ画面**



※フォーマット欄は選択しているオブジェクトにより表示される内容が異なります。

**固定オブジェクトのラベルを作成します。**

- ① エクスプレスラベルを起動します。
- ② 「ラベルギャラリー」で「+」(ブランク)をタップします。
- ③ プリンターに装着されているラベルがデフォルトで表示されます。よければオブジェクトを挿入してラベルを作成します。
- ④ ラベルを変更する場合は「ラベルカートリッジの品名」をタップします。



- ⑤ 「消耗品」をタップします。



- ⑥ 表示された画面から検索し、対象ラベルをタップし選択します。

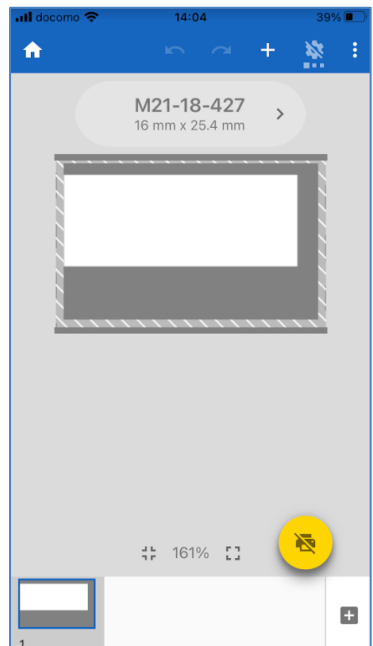




- ⑦ 対象ラベルを選択した後、表示された画面  
右上の「×」をタップし、ラベルデザイン作成  
の画面に戻ります。



- ⑧ オブジェクト(テキストやバーコード)をラベル  
に配置します。  
右上の「+」をタップします。



- ⑨ 挿入するオブジェクトのリストが表示されますので、対象のオブジェクトをタップします。

例としてテキストを挿入します。



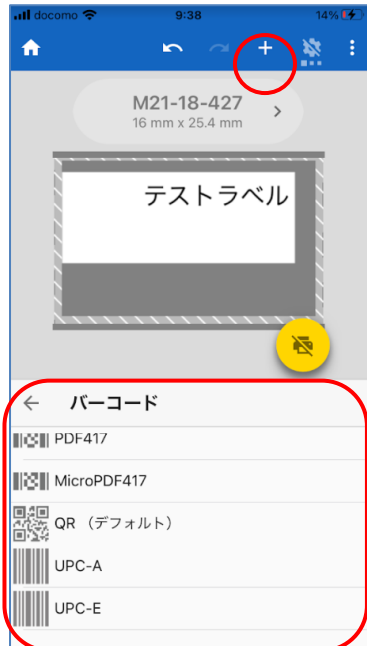
- ⑩ デフォルトで「テキスト」という文字列オブジェクトが挿入されます。



- ⑪ 値入力欄で修正し、右下の完了をタップして決定します。



- ⑫ 同様に「+」をタップしてバーコードを挿入します。  
バーコードの種類のリストが表示されますので対象のバーコードを選択します。



- ⑬ 例として QR コードを挿入します。  
挿入されたオブジェクトはデザイン領域の  
左上角に配置されます。



- ⑭ QR コードを選択して、画面下部のボタンでラ  
ベル中央に配置します。



- ⑮ 画面下部、「バーコード」をタップしバーコードプロパティを開きます。

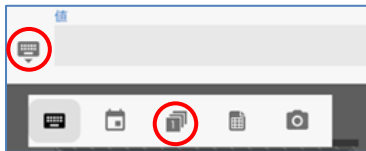


- ⑯ 密度を調整して QR コードの大きさを変更します。



挿入した QR コードをシーケンス(連番)設定します。

- ① QR コードを選択して、値入力欄を表示し、入力欄左の入力モード選択ボタンをタップします。  
表示された選択モードからシーケンス(連番)を選択します。



- ② 「最終値」をタップします。



- ③ 「最終値」を設定し、OK をタップします。



- ④ デザイン作成画面をタップして確定 & 保存します。



- ⑤ シーケンス(連番)設定された QR コードのラベルが作成されます。



### 自動生成されたラベルに固定テキストをコピーします。

- ① シーケンス等で自動生成されたラベルにはそのオブジェクト(上の例ではQRコード)のみが配置されます。  
固定テキスト「テストラベル」は 1 枚目のラベルのみに存在します。

自動生成されたラベルにも 1 枚目と同様に固定テキストを配置したい場合は以下の手順を実行します。



- ② 1 枚のラベルの固定テキスト「テストラベル」を選択します。



- ③ 画面下部の「各ラベルに表示」をオンにします。



- ④ 2枚目のラベル以降にも固定テキスト「テストラベル」が配置されます。



## オブジェクトを削除します。

- ① 削除したいオブジェクトを選択します。
- ② 画面上部のゴミ箱ボタンをタップします。



### 新規ラベルを追加します。

- ① 画面右下の **+** をタップします。
- ② 表示されていたラベルの後ろにブランクラベルが追加されます。

※固定テキスト「テストラベル」の「各ラベルに表示」オプションがオンになっているので追加したブランクラベルにも固定テキスト「テストラベル」が配置されています。



### ラベルを削除します。

- ① 画面下部のラベル一覧から削除したいラベルを長押しします。
- ② 削除モードになります。  
(画面右上にゴミ箱ボタンが表示されます)

削除モードでは画面下部のラベル一覧で複数のラベルを選択することができます。

- ③ ゴミ箱ボタンをタップします。



## スプレッドシートからデータをインポートします。

- ① PC で右のようなデータを用意します。  
(拡張子は TXT または CSV)

ID	NAME	AGE	BLOOD
1	Sato	28	A
2	Suzuki	33	B
3	Takahashi	45	O
4	Tanaka	29	AB
5	Watanabe	51	A

ファイルはメールに添付してモバイル端末に送信するか、クラウドストレージ経由で渡すことができます。

例えば、iPhone の場合、メールに添付されたファイルをタップ⇒右上の「共有ボタン」をタップ⇒「エクスペラブルにコピー」をタップすると、ファイルがエクスペラブルにインポートされます。



- ② ブランクラベルを作成し、テキストを追加します。



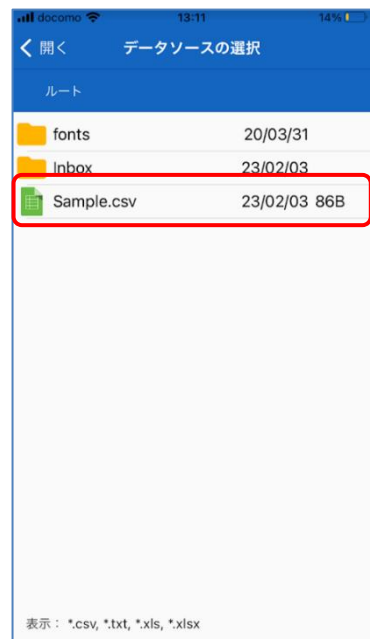
- ③ テキストが選択されている状態で値入力画面のタブからスプレッドシートボタンをタップします。



- ④ メール経由でローカルに保存した場合は「ローカル」を、クラウドストレージに保存した場合は対象のクラウドストレージを選択します。



- ⑤ ファイルを選択します。



- ⑥ ファイル内で列名を定義している場合は「最初の行は列ヘッダ」をオンにします。

列名を定義せず、1行目からデータが入っている場合はオフにします。

その場合は、便宜上 F1、F2、…という列名が付けられます。



- ⑦ 列を選択し、入力画面をタップして決定 & 設定を保存します。



- ⑧ 同様の操作を繰り返して必要な列をすべてインポートします。



右の図は、「ID」と「NAME」列がインポートされた状態です。



